

館林市邑楽郡4町障がい者基幹相談支援センター

開設記念講演

令和8年度

障害福祉施策の最新動向と 今後の展望

— 報酬改定前倒し時代における地域実践の指針 —

制度が変わるとき、現場の判断が問われる。

いま知るべき「国の方向性」と「地域の備え」を直接学ぶ機会です。



日時

令和8年
6月19日(金)
13:30～15:30
(受付 13:00～)



会場

館林市 郷谷公民館
群馬県館林市当郷町218



定員・参加費

定員：100名(先着順)
参加費：**無料**

主催

館林市外五町
地域自立支援協議会

協賛

特定非営利活動法人
群馬県相談支援専門員協会
公益社団法人
群馬県知的障害者福祉協会

後援

館林市／板倉町／明和町
千代田町／邑楽町／大泉町

地域の
“あわい”に寄り添う
支援の実践へ

開催趣旨・講演内容

制度が変わるとき、現場の判断が問われる。
いま知るべき「国の方向性」と「地域の備え」を直接学ぶ機会です。

開催趣旨

地域の体制及び支援の質の向上を図ることを目的に、
障害福祉を取り巻く環境は、令和8年度報酬改定の前倒しに象徴されるように、
制度・財政・人材の各側面において大きな転換期を迎えています。

加えて、障害福祉事業の信頼性確保、障害児支援の再編、地域共生社会の深化、
DXの推進など、地域福祉全体に関わる政策が同時多発的に進行しています。

こうした中、現場には制度理解にとどまらず、
人材確保・経営・連携・DXを含めた実践的な対応力が求められています。

本講演は、「館林市邑楽郡4町障がい者基幹相談支援センター」開設を記念し、
厚生労働省障害福祉課より最新の政策動向を直接ご講義いただくことで、
地域における相談支援体制と事業運営の質の向上を図ることを目的としています。

講師紹介



厚生労働省 社会・援護局
障害保健福祉部 障害福祉課
地域生活・発達障害者支援室 室長補佐

服部 剛 氏

(はっとり つよし)

講演内容 (予定)

- 1 令和8年度報酬改定の前倒しと制度改革の方向性
・前倒しの背景（財政・制度運用・人材確保）
・各サービス分野への影響（相談支援・就労・居住系・障害児支援）
・処遇改善・人材確保の新たな方向性
- 2 障害福祉事業の「信頼性確保」に向けた制度強化
・指導監査や制度運営の透明化
・事業継続と質の向上に向けた制度的対応
- 3 地域福祉の最新動向
(障害児支援・生活困窮支援・地域共生社会の深化 等)
- 4 障害福祉分野におけるDX推進
(国の方向性と現場に求められる対応)

参加申込方法 (事前申込制)

右記のQRコードまたは
下記URLよりお申込みください。



申込締切 令和8年6月7日(日)まで

※定員に達し次第、受付を終了いたします。

申込フォームURL (短縮URL)

<https://forms.gle/fF3Qb6EicdW4HA6Z6>

地域の“あわい”に寄り添う支援の実践へ